

日本語教育人材養成に関する ワークショップ・講演会

■ プログラム

【午前】 10:30～12:00

ワークショップ「各機関における日本語教員養成課程の現状と課題」

内容：自機関の教育課程の現状と課題、必要な研修会などについての意見交換

【午後】 日本語教育人材養成に関する講演会

① 13:00～14:00

講演：砂川 裕一 氏（群馬大学名誉教授）

「日本語日本事情教育の再定義を模索して～領界の広がりと視野の拡充に即して～」



2014年群馬大学社会情報学部退職（群馬大学名誉教授）。元国立大学日本語教育研究協議会（現 大学日本語教育研究協議会）代表理事／元国際交流基金日本語国際センター所長。2020年文化庁長官表彰受賞。現在は、群馬県の赤城山麓の自宅で静かな生活を送っています。

講師からのメッセージ

「日本語教育」あるいは「日本語日本事情教育」の構造的あり方に関わる課題を言葉にする際、熟れない表現ですが、「言語・社会・文化の統括的教育実践の理論化」という表現を使っています。

この表現には、「言語（日本語）の教育・習得」という理論的・実践的研究領域を構成する構造内的諸領域、すなわち「言語（日本語）」「社会」「文化」「教育」、そして学的な研究態度の在り方すなわち「実践」「理論」、そしてそれらを総合的・体系的に把握する際の「統括」という捉え方を包含させています。

本日は、「日本事情教育論」に関わる旧稿の論点を復唱しつつ、この熟れない表現に一定の内実を与えたいと思います。そしてその作業を通じて、昨今再定義されつつある「日本語教育」の領界の広がり、その新しい日本語教育を背負うことを期待されている「日本語教師」の視界の拡充の様相について考えてみたいと思います。

② 14:30～15:15

対象者別分科会（3部会）：ネットワーク構築の具体的な方法や各県で開催可能な研修会の企画等の検討

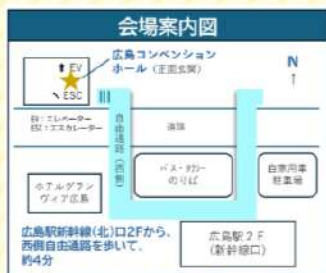
③ 15:45～16:15

県別分科会：顔合わせ、ネットワーク構築の具体的な方法等の意見交換

日時
場所
参加方法

2026年2月8日（日）10:30～16:15（10:00 受付開始）
広島コンベンションホール（会場案内図のとおり）
現地参加またはオンライン配信（講演のみ）※

※ 午前の「ワークショップ」、午後の「対象者別分科会」「県別分科会」は対面形式で開催、講演はハイブリッド形式で開催



対象：日本語教員養成課程担当者
修了者・履修者（学部生含む）
日本語教育に関心のある実務者・関係者

参加費：無料（要事前申込）

午前のみ、午後のみなどの一部参加も大歓迎

申込フォーム：QRコードのとおり
2月5日17時申込締切

